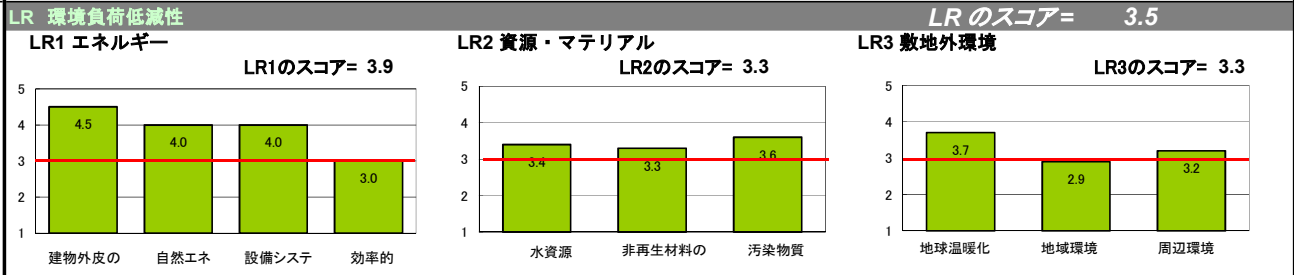
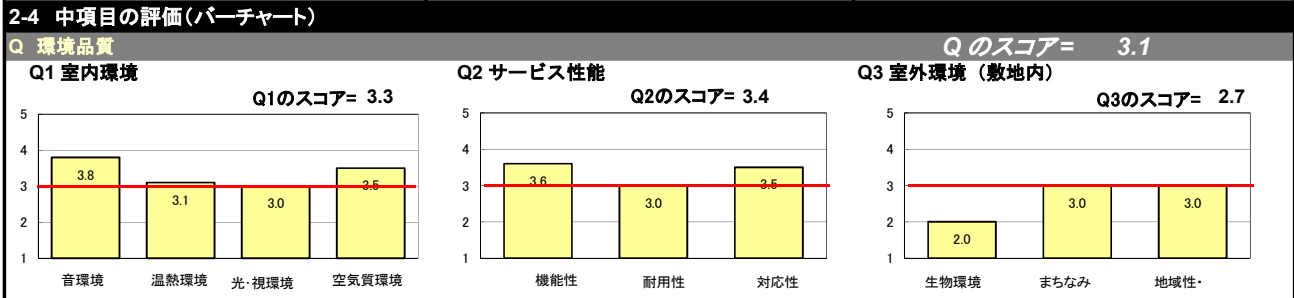
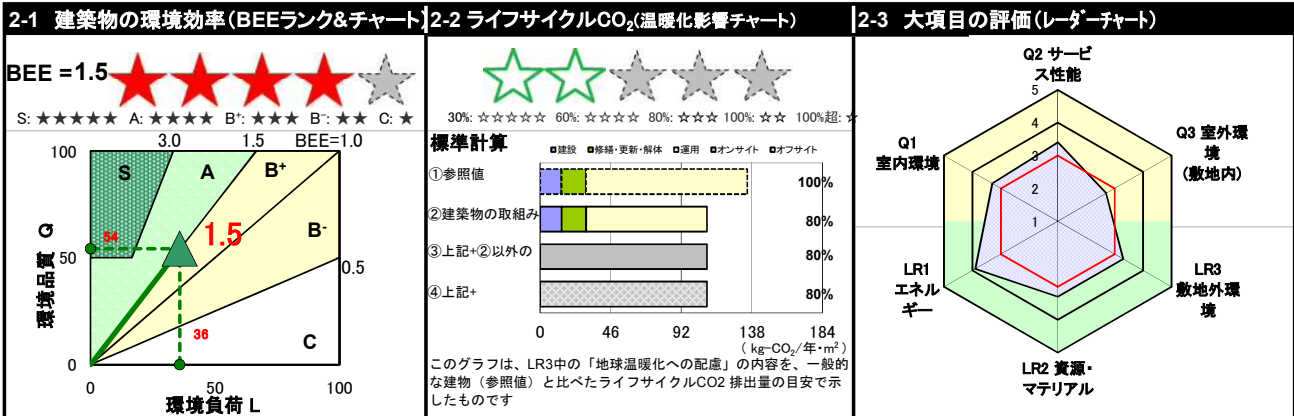




評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	南大通ビル北1条計画	階数	地上7F地下1F
建設地	札幌市中央区北1西9	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	500 人
気候区分	1地域	年間使用時間	2,000 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年4月 予定	評価の実施日	2017年12月29日
敷地面積	1,389 m ²	作成者	横尾
建築面積	1,238 m ²	確認日	
延床面積	8,517 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項

総合 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 ・ レンタルスペースを無柱とした使い勝手の良いオフィスビル。 ・ 飽きのこない端正な外観デザイン。 ・ 機械駐車を地下に設け街並みに配慮。		A 省エネルギー 注) 「A: 省エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・ 自然換気による空調負荷の低減 ・ 飲雑両方共、井水利用 ・ 全熱交換器による外部負荷の低減
B 省資源等 注) 「B: 省資源等」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・ 節水機器の採用 ・ 全館LED照明を採用	C 緑化 注) 「C: 緑化」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	D 雪処理 注) 「D: 雪処理」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・ 建物北側・西側にはロードヒーティングを敷設する(ガス式)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE_Sapporo2014v1.2
南大通ビル北1条計画

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目		重点評価項目		重点評価項目		重点評価項目		重点評価項目	
					A:省エネルギー		B:省資源		C:緑化		D:雪処理			
	重点評価項目				A	B	C	D	環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部分	住居・宿泊部分
配慮項目									評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質														
Q1 室内環境														
1 音環境														
1.1 騒音														
1.2 遮音														
1 開口部遮音性能														
2 界壁遮音性能														
3 界床遮音性能(軽衝撃源)														
4 界床遮音性能(重衝撃源)														
1.3 吸音														
床(タイルカーペット)壁(ビニルクロス)天井(岩綿吸音板)														
2 温熱環境														
2.1 室温制御														
1 室温														
2 外皮性能														
3 ゾーン別制御性														
2.2 湿度制御														
2.3 空調方式														
エリアごとに冷暖フリーの空調システム														
3 光・視環境														
3.1 昼光利用														
1 昼光率														
2 方位別開口														
3 昼光利用設備														
3.2 グレア対策														
1 昼光制御														
3.3 照度														
3.4 照明制御														
4 空気環境														
4.1 発生源対策														
1 化学汚染物質														
基準法規制対象外の全仕上げ材にF☆☆☆☆採用														
4.2 換気														
1 換気量														
2 自然換気性能														
3 取り入れ外気への配慮														
4.3 運用管理														
1 CO ₂ の監視														
2 喫煙の制御														
Q2 サービス性能														
1 機能性														
1.1 機能性・使いやすさ														
1 広さ・収納性														
2 高度情報通信設備対応														
3 バリアフリー計画														
1.2 心理性・快適性														
1 広さ感・景観														
2 リフレッシュスペース														
3 内装計画														
1.3 維持管理														
1 維持管理に配慮した設計														
2 維持管理用機能の確保														
フロアごとにSKを設けている														
2 耐用性・信頼性														
2.1 耐震・免震														
1 耐震性														
2 免震・制振性能														
2.2 部品・部材の耐用年数														
1 躯体材料の耐用年数														
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔														
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔														
4 空調換気ダクトの更新必要間隔														
5 空調・給排水配管の更新必要間隔														
6 主要設備機器の更新必要間隔														
2.4 信頼性														
1 空調・換気設備														
2 給排水・衛生設備														
3 電気設備														
4 機械・配管支持方法														
5 通信・情報設備														
3 対応性・更新性														
3.1 空間のゆとり														
1 階高のゆとり														
2 空間の形状・自由さ														
3.2 荷重のゆとり														
3.3 設備の更新性														
1 空調配管の更新性														
2 給排水管の更新性														
3 電気配線の更新性														
4 通信配線の更新性														
5 設備機器の更新性														
6 バックアップスペースの確保														
屋上に非常用発電機の増設スペースを確保														

CASBEE_Sapporo2014v1.2 南大通ビル北1条計画		欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2		■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)						
スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目				評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
	A	B	C	D					評価点	重み係数		
Q3 室外環境(敷地内)												
1 生物環境の保全と創出			C		2.0	0.30						2.0
2 まちなみ・景観への配慮			C		3.0	0.40						3.0
3 地域性・アメニティへの配慮												
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D	3.0	0.50						3.0
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C		3.0	0.50						
LR 建築物の環境負荷低減性												
LR1 エネルギー												
BPI 0.85												
1 建物外皮の熱負荷抑制	A				4.5	0.20						4.5
2 自然エネルギー利用	A				4.0	0.10						4.0
自動制御の換気システムを導入(エコボイド)												
BEI 非住宅 0.75 住宅(専有部) -												
3 設備システムの高効率化					4.0	0.50						4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)												
集合住宅の評価(3c)												
4 効率的運用					3.0	0.20						3.0
集合住宅以外の評価												
4.1 モニタリング												
4.2 運用管理体制												
集合住宅の評価												
4.1 モニタリング												
4.2 運用管理体制												
LR2 資源・マテリアル												
1 水資源保護												
1.1 節水												
省水型機器の採用												
1.2 雨水利用・雑排水等の利用												
1 雨水利用システム導入の有無												
2 雑排水等利用システム導入の有無												
2 非再生性資源の使用量削減												
2.1 材料使用量の削減												
2.2 既存建築躯体等の継続使用												
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用												
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用												
2.5 持続可能な森林から産出された木材												
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み												
躯体と仕上げ材が容易に分離可能												
3 汚染物質含有材料の使用回避												
3.1 有害物質を含まない材料の使用												
すべての仕上げ材をF☆☆☆☆												
3.2 フロン・ハロンの回避												
1 消火剤												
2 発泡剤(断熱材等)												
3 冷媒												
不活性ガス消火剤を使用												
LR3 敷地外環境												
1 地球温暖化への配慮												
換算スコア3.7												
2 地域環境への配慮												
2.1 大気汚染防止												
2.2 温熱環境悪化の改善												
2.3 地域インフラへの負荷抑制												
1 雨水排水負荷低減												
2 汚水処理負荷抑制												
3 交通負荷抑制												
4 廃棄物処理負荷抑制												
3 周辺環境への配慮												
3.1 騒音・振動・悪臭の防止												
1 騒音												
2 振動												
3 悪臭												
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制												
1 風害の抑制												
2 砂塵の抑制												
3 日照障害の抑制												
3.3 光害の抑制												
1 屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策												
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策												
光害ガイドラインチェックリストの過半をクリア												

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.5	BEEランク	A
建物名称	南大通ビル北1条計画	総合評価 ★★★★★			
建物用途	事務所				
延床面積	8,517.22 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	<p>この建物は特に 緑化への取組 が優れています</p>
	省資源等	
	緑化	
	雪処理	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア					
A 省エネルギー		合計 18点 / 24点			
Q1 温熱環境	スコア 1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 4.0		
Q1 光・視環境	スコア 1.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 2.0		
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 8.0		
		LR1 効率的運用	スコア 2.0		
B 省資源等		合計 16点 / 23点			
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 6.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.0		
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 4.0		
		LR3 地域環境への配慮	スコア 3.0		
C 緑化		合計 9点 / 16点			
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 2.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 4.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0				
D 雪処理		合計 3点 / 3点			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0		

4 設計上の配慮事項		
A 省エネルギー		
注) 「A: 省エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・自然換気による空調負荷の低減 ・飲雑両方共、井水利用 ・全熱交換器による外部負荷の低減 		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
注) 「B: 省資源等」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・節水機器の採用 ・全館LED照明を採用 	注) 「C: 緑化」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「D: 雪処理」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・建物北側・西側にはロードヒーティングを敷設する(ガス式)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される